京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●電氣瓦斯の近況

(電氣瓦斯社員の談)

▲電車● 最近九月七日の調査に依れば運轉哩數千六百四十五哩七四收入貸金三百七十九圓八十錢にして之を昨年同日の收入五百七十九圓九十五錢に比較する時は引繼後却て收入を減せるの觀あるも引繼の際に於ける韓美電氣の諸書類は毫も信憑するに足らず賣付けの目的を以て誇大の計算表を作製せるものなれば昨年の實收は該表より遙に少かりしならん要するに引繼後車掌等の監督を嚴にせし爲め賃錢誤魔化しを防ぐを得六十圓の收入を增加せるが目下普通車一臺十五六圓貸賃車として所藏されし新車輛には廿五圓內外の收入あり一日の平均收入は四百廿圓位にして一臺の車は一日廿五回轉し一區の收入一圓廿五錢なるが會社は引繼の紀念として一區一錢の收入となし現在五錢の賃金を四錢に減せん意あり發電所の機械は東大門龍山に各二あり比較的良好なるも規模小にして不揃なれば復線其他改良を加ふる筈なるも之等の爲め又は從來非常に紊亂せし社務の整理に來月中を費やさゝるべからざる爲め其后にあらざれば新施設の計をもなすを得ざる有樣なり

▲電燈● 八月末調査に係る供給電燈は總個數八千九百個十一萬千三百十六燭光なるが現在軍隊官廳よりの申込六千燭光あり、されど目下の供給餘力は六千燭光に止まれり從來の亂脈は殆んど言ふに勝へずメートルの設備は一の虛飾に過ぎず各領事館は殆んど無代價にて使用し居りし有樣にて官廳の如き五割減なるが這は日本側に照すも法外の安價なれば普通の直段は高きに過るを以て引下げん考なるも官廳向は今少し引上げざれば營業上立行き難し現在の收入は一ケ月九千二百圓乃至五六百圓位なるも整理せば直ちに壹萬五六千圓に達すべきを信ず

▲瓦斯● 工場は來月末迄に成効すべく瓦斯ホルダーは三十萬立方より三十五萬立方を容るゝに足るも現在設備にては普通八時間三十万立方を製する方法最も經濟的なり原料は九州炭を用ふべく副產物のコークス、ター、アンモニアリガー、ピツチ、クレオシン、クレオソート、フヒノル等の中現今の狀態にては悉く賣出利用の運びには至らざるもコークスの如き鐵道のみにても四十萬斤を使用する由なれば瓦斯副產物の分は普通のコークスより品質は劣るも何とか賣却の方法あるべし瓦斯料は日本方より約二割高なるも原料其他の費用を比較すれば寧ろ廉なる積りにて要するに會社は可成一般の輿望に副ひ其便利を謀る決心なり

▲社員● は目下二百五十八人にして內七十八は瓦斯の方百三十人は電車の車掌其他雜役夫なり(日韓電通)

(新刊紹介)

●大阪佛教(第二號) 佛教界の革命兒として現はれたる雜誌丈ありて活氣あり初心の佛教研究者に取りては適切の雜誌也(發行所大阪東成郡喜連村大阪佛教社)

●滿韓旅行案內(九月號) 其名の如く滿韓旅行者に必要なることを網羅す故に旅行者の必携の書末尾に日記を書入るべき日記欄を存するは用意周到也定價十五錢(發行所南滿洲社)

●商標公報(八號) 例により商標登錄に關する公報を網羅す統監府特許局の發行也(發賣所日韓書房)

●婦女新聞(四百八十六號) 本紙は每金曜日發兌の週刊新聞也婦女に關する記事を萃め所謂家庭の友女學生の友として內鮮の任を有する婦人の爲には恰好の文字多し昔時のいらつめを想起せしむ本號の在韓婦人の任務は一讀の價値あり(發行所東京牛込五軒町婦女新聞社當地賣捌所は旭町報知社支局)



第四十八席 桃川燕演玉

此山縣大貳と云ふ人が恐ろしい勤王家だ、どうも朝廷今日の御有樣は如何にも御痛はしい、武家が如何にも蔓つて、德川將軍の勢ひ余り盛んで朝廷を蔑に致す、どうか德川の天下を覆して王政復古の業を見やうと云ふ、同氣相求むる所から、所謂意氣相投ずると云ふので、ボーンと藤井右門と山縣大貳が玆で大事を打明けて、德川の天下を倒し、朝廷の世にしやうと云ふ相談が玆に成立つた。時に藤井右門が 右「扨山縣先生、玆に一人の豪傑を拙者御紹介せ申す 大「それは何と云ふ…… 右「竹內式部…… 大「それはどうも聞及んだる大先生、當時何方に居られる 右「三箇の津御搆ひとなつて諸國を遊覽をし、近頃は竹內松庵と名前を變へて江戶へ參つて、麴町の平河天神の社內、已が元と懇意の浪人の方に足を留めて居る 大「ウムそれはどうも勿怪の幸ひ、然らば竹內先生に拜顏を遂げたい」と云ふ、そこで竹內式部が姿を變へ名を改めて、大膽にも江戶へ入つて居りました當時竹內松庵、大貳の方へ來て段々話をする、そこで追々と此大望が運んで來て、之に加はりました重立つた人が宮澤頤藏、桃井九馬、佐藤源太夫、是等は浪人で武術の先生、町住居をして居る、水野壹岐守殿の家來吉見長左衛門、松平伊豆守の家來福島傳藏、靈岸島の港町に住居まする町醫高橋文冲、土屋越前守組與力澤田文治、上州小幡の宗福寺の老僧梅窓、永井飛驒守家來市川淸藏、上州小幡の城主織田美濃守家老吉田玄蕃、並に津田賴母、拓植源四郎などゝ云ふ、是等の人が山縣大貳、藤井右門、竹內式部の大義に加はつて、龕燈返しに世の中を顚覆さうと云ふ。と云に何に付けても先に立つのは金だ、斯う云ふ大事を企だてやうと云ふ式部も大貳も澤山金はあるが、併しそれでは足りない、大事業を企だてるにはなか〳〵夥しい軍用金と云ふものが要る。所が此の藤井右門が、易術の德を以て莫大な軍用金兵糧を仕送りまする、大金持を味方に引き入れた、是れこそ藤井右門の大膽な手柄、と云ふのは或一日山縣大貳が留守だ所へ靈岸島の高橋文冲といふ御醫者が、人柄の良い若い男に、續いて五十恰好の手代体の男、二人を連れて長澤町の大貳の道場へ來て 文「藤井先生」右「イヤ是は文冲殿 文「其許へ今日は御願があつて參つて 右「何で…… 文「同道を致した此人、芝神明前の公儀の御米を御預りをする八幡屋傳左衛門悴傳次郎殿と云ふ當時江戶表で有名の豪商ざつと五十萬兩の身代と斯う云ふ 右「ホヽウ 文「此傳次郎殿が少々願ひたい事があり拙者御連れ申した、どうか先生御骨折を願ひたい 右「何でござるか、拙者に出來る事なら御相談にも乘る、何でござる 文「本人から直に御聽き下さい、傳次郎殿、此御方が藤井先生だ、宜しく御頼みなさい 傳「エヽ先生樣初めまして御目通りを致します私は神明前の八幡屋傳次郎と申ます者 右「ハイ藤井右門でござるが何御用で…… 傳「御恥かしい事を申上げますが、私は東海道平塚の宿外れに居りまして、農具を拵へました鍛冶屋甚助と云ふ者の悴でございます 右「ハヽア 傳「私が生れまして二歲の時に親父の甚助が歿くなりまして、私の母が何分私を抱いて一人でやりきる事が出來ませぬから、此平塚の宿に八幡屋傳左衛門と云ふ豪家がございます、其處へ私を親知らずで養子に遣はしました 右「成程…… 傳「私が先方へ貰はれましたが乳がありませぬから、當座私の實母さだと云ふ者が、乳母に八幡屋へ參つて居りました、其中私も成人をして乳に離れました、すると實母さだと云ふ者はふいと何れへか立退いてしまひ、家出をして行方知れず、其後頓と便りがございませぬ、是が今を去ること丁度十九年前の話、私の養父傳左衛門其後江戶表へ立出でまして、誠に仕合せが好くございまして、追々身代も伸びて參り、まア只今では五十萬兩の身代、人樣にも八幡屋と知られまするやうな身分になりました、先達養父の傳左衛門が歿くなる時に、私を枕頭に招んで實はれ前は斯う〳〵云ふ身分、れ前の實母と云ふものは家出をしてそれつきり音沙汰がないが、若し生きて居るなら尋ねて引取つて世話をしてやれ、斯う云ふ事を申して歿くなりました、それで養父の後世菩提追善萬端を取り濟ましました所から、實母の事が心に掛りますから、諸方の宜いと云ふ賣卜の先生、有ゆる御方に伺つて見ましたが、何誰の仰有るにも是は確に生きて居る死にはしない、斯ふ云ふ先生方の古考でございますが、何處に居るかそれが判然分りませぬ、就きまして文冲先生から承りましたが、貴方樣は大層な古考の大先生、百發百中と云ふ御話を承りましたので、どうか私の母に遇ひ度うございます、何處に居りますか一つ見て戴きたう存じます、何分にもどうか御骨折を願ひれい。



美術半衿帯上帯締其他紐類各種

京城本町一丁目 るり德商店

京城新報

親日と他人行義

頃者韓國に於ける所謂政社なるもの〻合同談起り、一進會大韓協會西北學會等の領袖等相會し種々意見を交換し、親日主義の下に提携して活動すべく決したりと云ふ

余輩は此等の各派が如何なる目的の爲に合同するも合同せざるも韓國の進運には何等の影響もなければ彼等にして合同するかを穿鑿するの必要なし、何となれば彼等が如何なる目的の爲に起り如何なる目的の爲に合同するも保護政治の全局よりすれば彼等の蠢動は寧ろ害あるも益なし、何となれば彼等が結社の眼目は一に唯政權爭奪にあるのみなれば也、然れども各派の合同が果して圓滿に遂行せらる〻とすれば、從來互に嫉視反目したる弊を脫して幾分社會の平和に善果を見るべしと雖も、各派共に特種の歷史を有し、階級を異にし、地方を異にせるを以て之が圓滿に合同を持續することは頗る難事ならむか。

余輩は彼等が此合同を圓滿に遂行し得るや否は前にも述るが如く大局の進運に何等の影響なければ殊に之を論評するの必要を認めざるも、彼等が宗主國たる日本に對し親日主義の下に提携し云々と云ふ不心得に對しては大に叱責せざるを得ず、保護國たる韓國人には既に排日者は無く親日を標榜する資格なし、何れの國に於ても保護國民以外國に對して特に其宗主國の國民と同視し宗主國に對する半國民たるの意味に於て宗主國の民を取扱ふものアヂテーにして韓國人は日本の半國民にして外國に對しては全然日本國民として取扱はる、淸國に在留する韓人も米國に在留する韓人も本体に在留をなす韓人も如何に彼等が排日的の行として取扱はる、然るに彼等は親日主義の下に合同するとは何事ぞ、自己の保護を受けつ〻ある宗主國に向て親日か排日とかを標榜するは大なる誤り也、既に保護國民たる以上は自巳を日本人と見做して總の行動をなさゞる可らず、然るを彼等が時勢遲の親日呼りをなすは畢竟保護國民たるの意味を解せざるが爲ならむ、親日主義杯とは要するに他所行の語也、他人行儀の仕打也斯の如く何時迄も他所行の語を使用し他人行儀の仕打をなすは彼等の爲に不利益也、彼等にして眞に保護の意味を解し自巳を以て宗主國の民と見做し渾然として融和するに至らざれば到底彼等の進運を見る能はず從て彼等が心底より幸福を感受するの時は來らざるべし。

余輩は韓國人が徒に他所行の語を弄して他人行儀の擧動を爲すを斷じて排す、我は韓人なりとて自ら日本を外國視し之と隔離するが如きは決して韓人前途の幸運を招く所以に非らず、否な是が爲に彼等の損する所は蓋し尠少ならざらむ、會讎は彼等が今の時に於て保護民の何たるかを眞に了解し自巳を排日親日以外に置き只管一千萬衆將來の幸福に資するの擧措に出でんことを婆心ながら呉々も勸告するもの也。

東京電報

▲滿韓鐵道統一か

韓國鐵道の現況を實査したる小林鐵道院參事の觀察復命次第目下懸案中の滿韓鐵道統一問題は決定を見るべき筈なるが多分韓國鐵道の運命は南滿鐵道會社の支配の下に移るべしと當局の一人は語れり(十日着)

▲日宗生命の解散

日宗生命保險會社は明十一日を以て破產宣告に對する抗告期間經過するを以て直に指定の官選精算人に引渡さるべし(同上)

▲領事館設置決定

政府は間島龍井村、頭道溝、百草街、局子街の四ケ所に領事館及び分館を設置する事に決定し其經費は外務省所管歲出經常部豫算に計上し本日大藏省に

▲篠田事務官歸任

滯在中なりし間島派出所事務官篠田治策氏は昨夜新橋驛出發歸任の途に就けり(同上)

▲臼井橫田の脫會

臼井哲夫橫田虎彥は[illegible]を脫會したりと(同上)

▲上海領事に交迭

上海駐劄總領事[illegible]を命ぜらる後任は阿部書記官

▲佐々木侯爵危篤

佐々木高行侯侍醫の診斷にて赤痢と判定され容體危篤なり(同上)

雜報

●日淸協約に就いて(小松書記官の談)

日淸協約中間島に關する協約に關し統監府書記官小松綠氏は樣々數千言の談話を試み以て吾が外交の失敗を極力辯護せり今其要領を摘載せん▲國際條約は

▲個人間の合意的約束と同しく自他其利害を均ふして成立するものなり尤も媾和條約の如きは其例外なるも普通の場合に於ては多く此原則を免れざるものとす故に今度の日淸協約に就ても種々の利害案件を加減乘除する時は結局相平均せるものと見做すを得べし焉んぞ今更其損得を評隲するの必要あらん而して間島に於ける領土權を讓れるは蓋し▲讓步に相違なし 併し之に對し是迄閉鎖せられたる同地を開放し外國人の通商及居住を許さしめたる淸國の讓步と對照する時は毫末の輕重あるべき筈なし必ずしも日韓人と云はず世界の貿易場とせるは如何に吾が國が門戸開放主義を滿韓に實行せんとするの誠意あるかを列强に表彰したるのみならす吉長線を延長して北韓會寧に連結する事となれるは韓國の爲めに非常の便益と云はざるべからず▲故に空樓の空論を止め實利に露破するの覺悟最も肝要なり而して該協約の結果開放地の日韓人は我が保護の下に屬するも圖們江以北の雜居地に於ける韓人は淸國の司法權に服するものにして多少疑念を懷く人あり是れ淸韓通商條約にて互に治外法權を保留せるを以て該規定は恰かも其除外例の如く思惟せらる〻も場所と事情とにより同一國民を各別に取扱ふ例乏からず現に本年三月調印せる英暹條約は其適例なり茲に注意すべきは雜居地にして即ち▲雜居地は開放地以外なる事是なり換言すれば外國人の居住し得ざる韓人のみの分なり故に此等地方に在る韓人は開放地に在るものと同一の特權を有せざる譯なり然れども是れ實際上の便宜と從來の慣行等より割出せる必要なる處置にして必ずしも怪しむべき事にあらず是を要するに今回の協約により鴨綠江にては滿韓鐵道の連絡成らんとし今又吉長線を北韓に延長する事となれるを以て▲淸韓兩國の通商は著大の發達を見るべく隨て今後日淸韓の商民も次第に往來頻繁となり延いて日淸の親密は更に一層深厚を加ふるに至るべし故に個人としては種々の不足あらんも今日日淸間の諸懸案を悉く解決し得たるは東洋繁昌の爲め世界の平和の爲め慶福すべきを信ず云々

●軍部廢止と補助員費

今回軍部廢止の結果該部經常部の歲出豫算は宮內府に移屬する事となり同日までの歲出を締切り其豫算額十七万三千三百五十圓及び度支部所管にして軍部に屬したる修理費豫算殘額二千八百二圓合計十七萬六千百五十二圓を皇室費に增加し又同部臨時憲兵補助員費は度支部所管に移屬する事となれり而して補助員費歲出豫算殘額は左の如し

憲兵補助員費 五十一萬四千二百七十一圓

內譯 人件費 三十六萬九千圓

●日英博覽會出品方針

日英博覽會の出品に對する方針は統監政治開始以來韓國の政治經濟に關する諸般の文物制度の進步改良せられたる狀況を示すを以て主たる目的とし兼て韓國の富力程度を示すべきもの古今美術及學藝の參考となるべき物品を出陳し特殊の事情あるもの〻外凡て統監府の名を以て各官廳よりするものにして此方針に基き出品物の梗概を擧ぐれば(一)模型(二)統計表(三)寫眞及陳列品(美術工藝)等なり

●滑稽新聞の發行停止

龍山にて發行する韓國滑稽新聞九月號は治安を妨害するものと認められ九日付を以て其發賣頒布を禁止し且つ同新聞の發行を停止されたり

●排日新聞の押收

布哇發行新韓國報二卷廿四號は發賣頒布を禁止し押收されたり

●繁文と度支部令

公文書を草するに當り徒らに反覆叙述を爲し偏へに文飾を[illegible]しめ以て事務の進捗を便ならしめん事を要する旨度支部大臣は所屬官衙に訓令を發す

東京電報

東宮殿下の御巡啓

我 皇[illegible]

▲韓太子[illegible]

[illegible]

轉任せし西川氏は本日午後三時三十分新橋發赴任の途に就く(同上)

[illegible]にして特に親任の待遇を賜はる筈なりと而して長官は倉富[illegible]之に任せらるべしと

[illegible]派遣したるが同江原道へも今明中派遣の筈

●貿易と韓人實收(韓人の貧なる理由)

韓國の輸出入總額約五千五百萬圓中輸入は四千百万圓を占め輸出は僅々千四百万圓に過ぎず輸出入の不權衡韓國の如く甚しきは莫し而して輸出額の內米、大豆、麥其他の雜穀を合して約一千萬圓なるが此內米を石十圓と假定し出入關稅二割を初めとし積出費、問屋牙錢、保險料其他運賃等を合して五圓を要すとする時は差引韓人の實收は五圓に過ぎざるが是さへ沿海又は鐵道沿線に止まり內地僻遠の地は運搬費に多くを要し到底搬出に堪ゆべからず米にして尙ほ此の如し他の雜穀は關稅其他保險に於て多少の差額あるも運賃其外手數に就ては米と同樣なるを以て韓民の收入は更に寡少なるを知るべし穀物以外の四百萬圓は生牛、牛皮、乾魚其他少量の海產物なるが海產物中の八分は日本人の經營に係り若しくは日人の手を潜るが故に同じく韓民の收むる所は僅少なり唯牛のみは全く韓人の經營に係るが故に邦人の手數料を差引くとするも生牛七十萬圓牛皮五十萬圓の大部分は韓人の收入に歸すも以上の狀態なるが故に純然たる韓人の實收は其半額即ち總輸出額千四百萬圓の二分の一七百萬圓に止まるのみ其他金の輸出四百萬圓以上なるも多くは外國人の經營にして韓人は一個の勞働賃を得るに過ぎず關稅の如きも日本にては米の輸入のみにても二千二百萬圓乃至五千萬圓により其關稅收入は三百万圓に達す然るに韓國關稅の總收入は三百萬圓にして僅かに日本に於ける米穀輸入稅と相當るのみ素より韓國に於ける我政府の經營實業家の投資其他諸種の原因に由り直接間接に韓人の收入する所又少からざるべきも貿易の不權衡此の如く其實收亦輸出額の半ばに過ぎざるが故に地方農民が貧窮にして購買力に乏しく隨て居留地商業の不振を來すは當然といふべしと某經濟家は語れり

●統監夫人御着

九日の晚南大門通りより本町筋へ掛け赤提灯を下げた幾十人の警察官が街路警衛をして居る、記者は所用あつて南大門通りを歩いて居ると警衛の韓巡査からコラ〳〵と浴せられた記者は何故かと問ふとトンカン韓巡査の曰くモー少し過ぎるとトンカンブーインが御通りになる因つてお前達は此邊にまご〳〵して居つてはならぬと、記者は韓巡査の見幕に恐れ匆々にして橫町に逃込んだが叱られて逃込んだものは記者の外にも澤山ある、一体トンカンブーインとは統監夫人の事である、其統監夫人が通行せらる〻からと云つて警察官をして街路を警護せしむるとは何の事であらう、記者は曾て印度に在つてカルゾン總督夫人の通行に數次出逢つた又フリピン島に在つてタフト總督夫人の通行にも數次出逢つた而かも其通行の街路が一度たりとも警官に因つて警護されたるを見受けたことがなく亦巡査からコラ〳〵とまご〳〵して居つてはならぬを喰はされたこともない、思ふに一昨夜の事たる決して統監の旨より出たることではあるまい併し夫人通行に街路警衛は餘まりに仰々敷且つ國費を以て抱へある巡査の濫用にも當る野暮ならぬ統監は記者の言を納れて今後斯の如き事を一切爲さしめざる樣にせられたいものだ

●會議所と米穀輸入稅

今回開かる〻會議所聯合會にては韓米輸入稅問題は無論議題とせらるべきが之に就き各地會議所は米は素より雜穀をも無稅とすべしとの說を有し居り京城會議所にては米のみ無稅とし雜穀は五分以內の從價稅を課せらる〻も可なりとの意見を持し居れりと

●商會聯合會提出議案

十四日開かるべき第八次在韓日本人商業會議所聯合會に京城商業會議所より提出する議案は左の如し

一、日本に於ける關稅改正に關し意見開申

二、韓國土地整理に關し建議の件

三、韓國內電話區域に關し建議の件

但本局より二里以內の地は一區域と見做し料金を徵收せざる事

●商業會議所の臨時會

九日夜會議所臨時總會開催出席者は中村會頭外十七名特別議員林、淺野兩氏合同課金徵收を百三十銀行支店に囑托に付き支出豫算項目變更へ更正の件及び聯合會の提出議案四件を決議尙ほ同會開會準備委員を定め會議所より曾我勉、增田三穗兩氏を撰擧す

●二百十日の農況

二百十日(九月一日)各地の農況左の如し

▲勸業模範場 大暑當日より二百十日前日に至る間の天候は晴天二十四日雨量百五十四粍七にして之を前年に比すれば晴天は七日多く雨量は九十七粍九少し又氣溫は平均二十九度九最高二十九度六最低二十二度にして前年に比し平均氣溫は〇度八最高九最低一度一高く一回の風水害蒙る事なかりき大暑後晴天多く氣溫高かりしを以て稻の生育益好況を呈し大場及豐後の二種は八月十四日穗揃となり漸次中稻に及び晚種早神力は目下出穗を始め二三日にして穗揃を見るに至るべし要するに本年の稻作は挿秧當時より照込み充分なりしを以て生育頗る佳良にして株揃良好なるを以て今後天候に異變なくんば平年以上の良作なるべし附近農家の作況は挿秧の早きものは當場監督同樣の好況を呈せり

▲平壤出張所 氣候稍適順にして灌水充分に病虫害なく七種(何れも日本種)出雲早生神力の二種を除く外は八月二十八日より九月一日迄に穗揃し前年に比すれば各種共數日早く出穗せり附近農家の作況は概して良好にして前年に比し稍々優れる見込なり

▲大邱出張所 大暑後降雨極めて潤澤なりしを以て莖葉益繁茂し七月下旬螟虫少しく發生せるも直ちに驅除したるを以て被害殆んどなし水稻十三種中(日本種九韓種四)は本種五韓種三つ已に出穗せり本年は挿秧期昨年より十二日早かりし割合には出穗期稍遲れたる感あるも草丈及分蘖共前年に優り今後氣候適順ならんか收量は前年より增加すべく附近農家の作況は八月中降雨頻繁なりしを以て生育頗る好良にして目下の狀況より推察せば平年作以上の收穫を見るに至らんか

▲全州種苗場 大暑當日より二百十日前日迄の氣候は之を平年に比し氣溫概して高く相當の照込あり而して此期間に於ける雨量は前年に比し遙かに少なく前期旱魃の後を承け當場に於ても其一手は一時全く用水を失ひたるも幸に數度の驟雨により水稻の生育を害すに至らず又た螟虫少しく發生せしも臨時驅除を行ひ浮塵子も多少發生せしと雖用水不足の爲十分の驅除を勵行する能はざるは遺憾とする處なり然れども目下の發生程度に於ては生育に及ぼす損害は敢て大ならざるべく今後の氣候適順なるに於ては平年以上の作柄なるべし附近農家の作況は水利不便なる地にありては用水缺乏の爲め生育上多少の惡影響を免れざるものありと雖も一般より之を見れば其生育は順當にして病虫害は比較的少く目下の作柄は前年に比し稍劣るも今後不慮の災害なきに於ては平年作なるべし

▲光州種苗場 本場栽培の水稻は八種(日本種七韓種一)中日本種五は既に出穗し就中日の出及高宮は目下糊熟に達せり氣候は尤も生育に適順なりしを以て生育極めて良好なれば今後變災なからんか平年作以上の收穫を得べし附近農家の作況は適期に移植せしものは良好にして挿秧期を失したるものは不良なるを免れず然れども大暑後の天候適順なりしを以て一般を通じ平年作より下ること大ならざるべく豫想せらる

●統監夫人の着京

既報の如く曾禰統監夫人テル子は一昨夜入京せり列車の入着するや出迎の爲め出向せる香取、小宮、松井、渡邊、若林、外波、國分、佐竹、澤田、三宅小松、村上、佐々木、山口、中村の各夫人及昌德宮よりは韓皇后の思召を以て差遣はされたる女官趙夫人並に德壽宮より女官一名出迎ありて時ならぬ盛況を極めたり

●統監夫人茶話會

一昨日入京せし統監夫人は出迎を受けたる昌德宮女官趙夫人德壽宮女官及勅奏任官夫人外愛國婦人會員を本日三時統監邸に招き茶話會を催す由

●豫備金支出裁可

左記費途に對し豫備金支出の件上奏裁可せらる

警備電話架設費 七〇、〇〇〇、〇〇〇

暴徒掃鎭費 五、〇〇〇、〇〇〇

●屠獸場本日開始

西大門屠獸場は今十一日より開始の旨警視廳は告示せり

●天氣豫報(自十日午後六時至十一日午後六時)

●肥達丸

午後七時三十分

●步兵の發火演習

步兵第十三聯隊は來る十七日午前中龍山梨太院東南方の高地に於いて空砲發火演習をなす筈なりと云ふ

●署長會議の開催

昨日警視廳に於て若林總監以下南、北、東、西、中、龍山の各警察署長及青木主理列席の上署長會議を開けり

●南山本願寺說教

本日は土曜日に付午後八時より南山本願寺に例の通り說教あり

●理事官の馬山行

三浦理事官は家族連れ歸りの爲め九日夜行列車にて馬山に赴く

公人私人

▲山岡義五郎(釜山稅關長) 稅關長會議に列席の爲め去る九日入京浦尾旅館へ投宿

▲有賀光豊(鎭南浦稅關長) 同上

▲野中耐(元山稅關長) 同上不知火旅館

▲宇都曾一(水原東山農場支配人)九日歸原

近事片々

▲帝國政府の四十三年度の財產計畫なる者を見るに諸事差控韓國貸付金增加は可し

▲概目を擧れば韓國貸付金增加必要の繼續外新事業中止皇室費增加官吏の俸給增加

▲國債償還額一千萬圓增加等也と國民の最も仰望する所は大陸經營移民集中ならむ

▲然るに此事に關して更に何の項目もなし今や人口充盈國民生計上逡歿の苦を嘗む

▲大陸經營移民集中は今や國權問題に非ず自衛上の緊急問題之れ列國の承認する所

▲韓國政府に對し貸付金增加よりも移民經營に此資を投ずるが全く順當に非ざるか

▲北海道の歲出入は收入三千萬圓支出二千五百萬圓也と差引五百万金儲かる勘定也

▲韓國の如き移民經營に極力盡せば幾年ならずして帝國の國庫を助くるに至るべし

▲間島領事には何人が任命せらるべきか其人撰は最も注意を要す霞ケ關育ではダヌ

▲參謀本部邊に適任者必ずあらむ人材選拔を局部に限りては到底適材を得るに難し

▲元山の韓人は自ら自治制を施行せんとて人民總會を開く茲に氣が付けば先づ結構

▲京城にても此種の會議を開け政党合同杯と騷ぎ廻るも何等の益あらず悔悟せよ竭

▲舞鶴敦賀淸津間航路開始につき往復の積荷あるや否を氣構ふとは余り杞憂に過ぐ

▲總ての所交通の便開け始て物產は出で來るが常物產の興起を俟て交通を開は矛盾

▲先以て交通の便を開け然らば物產は漸次增加し來るもの需要供給の原則は乃ち是

▲獨逸財政危機に瀕すと或は然らむ畢竟是軍備擴張の結果耳軍備擴大は國民の血淚

▲今日の如く列國が軍備に熱すれば終に國民は營業不良の爲に活動する能はざる也

▲北極探險家クック博士は芬蘭に着す而して北極到達の事實を科學的に說明すべき也と

▲田中前宮相岩淵の別邸に每日例の君夫人孝子とイチャ付居ると老人中々元氣旺盛

▲お半長右衛門以來のレコードを破る豪老と世人云ふも如斯は獨り田中老耳ならず

川、富山の各地を御巡啓の上十月四日還啓の御豫定（十日）

▲西川所長の出發 釜山檢疫所長に

割當は廿日前後に決定すべく割當方法は按分比例とし小口を募入する筈五万株を最高とし小口申込頗る多し（同上）

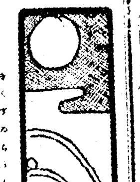
…の基因たるを以て自今京中報告等は總て其眞相を審査簡明に記載し一見知悉せ…

後の韓國司法監獄官制は目下法制局に回付せられ審議中の由なるが其長官は高等官一等…

俞吉濬、趙鎭泰の諸氏は漁業基地の貸下請願をなす爲に一昨日視察員を全羅南道へ…

北西の風晴

九日（華氏）最高温度 七七、二 最低温度 五二、三



●悲劇 擲翠樓の亡魂（二）

▲登場俳優歌舞伎座連
▲女狩りよう煩悶の場

草木も寝入る丑三つ時四方は寂として聲なく、物凄き事限りなし、蒲團を摑んで藻掻き居るリヨウを見て亡靈の蜂之進はさも愉快げに打ち見やり尚も語を續けて云ふやう

亡靈「此頃の家庭の亂脈は何事じや、藝妓は文之助が盲目になつてからは、互に暗闘を試み帳場は我儘を爲し、仲居は出酒張つて人に厭はれ、折角出來揚つて屋体骨も何んの甲斐にもならぬ、花月と競爭處が隣りの稲の家にさへ凌觸されて居るではないが、是れ皆其方の不心得からだ俺れの迷ふのは其方の前途を思ふからだ聊かでも人心があるならば早く俺れの弔ひを爲し、商賣大事に監督を怠るな……アー、最早無情の風が迎へに來たイザ是より焦熱地獄へ赴かん」

ドロ〳〵〳〵と太鼓の音で引込むと場内の電氣は一度にパット光りを放つ死人の如きリヨウは暫らく夢中となつて居たが流石氣丈な女とて漸く正氣づき、考へれば考ふる程已れが犯せし罪惡の恐ろしく、軈がて大聲を發して帳場や例の弟などを呼ぶ、兩人は急いで此部屋に這入つて來る

二人「夜更けてドー爲たのです、又其顏色の惡い事……一体何事が起りました」

リヨウ「イヤモー大變な事で妾しは今恐ろしい夢を見まして愈々自分の惡い事を悟りました、ドウカ一日も早く旦那のお葬式をする準備を爲て下さい」

承知致しましたと二人は立去る、後でリヨウは思へらく、する事さへ爲て置けば死人に對する務めは濟むと云ふ者だ、又後ではドンナ道樂も出來る、其れにアノ役者でも大枚二千圓も與へて一座を組織さしたものを今更惜しくもあれ、其れに一人家の寂びしさ折角親切に云ふて呉れるものを養生喰ひや摘み喰ひはダレでもする習ひじやと、獨り合點して再び蒲團の中へ潜り込むと舞台は忽ちダークチエンジー、

此處は故人蜂之進の弔ひの場リヨウに續いて燒香する者は故人の實弟でリヨウの爲めに四代目の夫、引續いて燒香する者は誰れあらう旭町歌舞伎座出勤の某俳優、僧侶の讀經將に終らんとする頃忽ち天地鳴動してアワレ新築の擲翠樓は粉微塵に破壞する處で幕切り

以上は本月二十八日三田尻ならぬ、旭町〳〵は歌舞伎座の愛澤一座に依つて演せらるゝ脚本の略筋であゝ、其他之れに關しては面白き喜劇を近々紹介すべし

●越中褌ご三子の的事

▲反古に成り相な夫婦約束

仁川敷島遊廓に朝日樓と云ふのがあることは粹樣先刻御承知のことにて又此の樓に三子と云ふ今年廿八になる酒顚童子の申し子かと思はるゝ一升酒をペロリと行つて除ける剛の者のあることも皆樣御存じの通りであるが此の妓本年八月十五日を以て目出度年が明けたけれども近所の酒屋に借金ある爲め本年中は身体押し差へを食ひ本年中は今迄通り餘り自慢にもならぬ顏を格子に曝す事として相變らず婦賣に精を出して居るが普通の心掛けの女ならば二人や五人引き受け人も有る可きが何樣性來の大酒飲ひが祟つて居ると承知の上で去る頃名指しで登つたは仁川醬油會社の五島と云ふ四十男の獨身者三子が引き受け人欲しやの弱點に付け入り遂々夫婦約束も成立し本年中と云つても僅かの事なれば辛棒して愈々借財を濟したる上は京町通りに家を持たうと堅い堅い石の樣な相談迄成り立つた、と丈けではれ芽出度いが五島とて實は夫れ程の金があるのでない計りか登樓る度んびの玉代さへ

●時事俳評　千春

△東拓金融部の擴張
早稻刈つて小錢出來たり小百姓

△三角航路は難產
まだ奥の知れぬ峠や霧の朝

△韓銀權利株の下落
蜻蛉につられ居るやとんぼ釣り

△三南線起點地の競爭
腰のなき張り弓可笑し釣案山子

△すみれ會の隆盛
結び字の解けて長夜の六句集

持ち合はさぬ事もあるが全然女房に成り濟ました積りの三子は此所が女房の働きの見せ所と朋輩女郎を欺したり夫れも都合能く行かぬ時は三味線からバチの類迄入質して厭な顏もせず逢引いて居るに事變り此方の五島は夫れ程には思はぬのみか聞きしに勝る三子の大酒食ひに何うやら愛想を盡かしたらしく斯くと氣取つた三子女郎氣が氣でなく今彼の人に棄てられたら拾ひ人もない秋の破れ扇三千世界に誰れ一人構ひ付けられぬ因果の妾と泣かん計りになつて日々醬油會社へ出掛けて五島の家内は私ですと吹聽旁々お世辭を振り蒔いて居るとかやア、ラ可憐相なは此の子で御座い、罪滅しおや見てやつて下さいサアサ評判々々

●韓婦人の立廻り

南署山林桐四十六統十戸徐姓女（四十）方の嫁某（一九）は自宅の米及煙草等を盜み出しては近所に住せる金姓女（三十）に賣り附け居りしが姑なる徐は薄々之を知れるも荒立てゝは却て自家の恥を晒す事なれば見ぬ風を裝ひ居りしが嫁は之を好き事にし非行は益々募り來れるに姑も遂に默し難く金姓女に向ひ嫁は無論不都合なるも情を知りて物品を買ふは不都合なりと之を責めたるが因にて二女は大立廻りを始め其末金姓女は臺所用の鉋丁を持ち出し徐姓女に對し之を以て我を切れと云ひ出で徐の應せざるより金は其鉋丁を以て吾と我顏を切り右頰に三寸程の創傷をなしたるを近所の者が南部署へ届出でたるを以て巡査出張兩人を同行說諭の上徐に治療金を出さしめ示談にて事濟みたりと

●詐欺漢取押らる

熊本縣飽託郡本庄村二百五番地平民當時大漢門前法政新聞主筆吉田松太郎方居住田邊龍雄（三九）は本年一月中竹園町居住小幡彥三郎より金十五圓を詐取して其の蹤跡を晦ましたるより其の筋にて捜索中の處昨十日午前十時頃京城郵便局人民控所に於て南部署の長野刑事に取押へらる

●大泥棒を逮捕す

長崎縣長崎市築町三百六十五番地平民當時太平町一丁目居住無職前田武夫（十九）は前科二犯の曲物なるが前記の處に居を据へ徒食し居る擧樣の頗る怪しと見て取たるより南部署の長野工藤村上の三刑事が昨朝五時頃其住所に踏ん込んで引致取調中なるが京龍間に於て十個所以上を荒らせし見込みなりと

●煙突から發火す

九日午後二時半頃本町四丁目廿七番戸貞島品吉方の菓子製造場煙突より火の子噴き出し物干場にありし布團に燒け移り同物干に延燒せるを發見し消火に努めたる爲め大事に至らずして濟みたりと

●井戸に落て即死

仁川栗木洞居住金順三の母文召史（六八）は再昨日午後一時頃同村鄭益祖方の井戸に水を汲みに行き誤つて井戸に墜落し酷く頭部を打て即死せりと

●科料一束

旭町一丁目七番戸飲食店加藤金太郎は酌婦を雇ひ入れながら届出でを怠りたる爲め一圓▲若草町一丁目一番戸下宿屋森喜三郎は裸体となりて二十錢▲本町一丁目裏通り四番戸飲食店松本正軒は仲居を雇ひ入れ其届出でをなさず五十錢▲旭町一丁目七番戸飲食店加藤金太郎は粉裝したる酌婦二名を路上に徘徊せしめ一圓▲長谷川町二丁目三十六番戸泉永榮三妻いし（三五）は居留届けをなさず二圓▲陽町四十番戸雜貨商貞賀安次は無提灯にて自轉車を乘り廻して二十錢の何れも科料に處せらる

●壽座の舞臺開き

▲登場俳優は伊東一派

去る六月以來巨萬の資を投じて新築中なりし當地壽町三丁目壽座は愈々落成を告げ目下舞台其他裝飾の取附中なるが開場初日は多分來る十七八日頃なるべし而して登場俳優は目下釜山座に行演中なる伊東文夫一派にして座員は昨年來京したる當時の所謂一東一派の上に新俳優として關西地方に名を爲せる小泉三猿を加へ、はやし、衣裳其他裏方一切は從來になき大奮發を爲し開場の筈なるが同座今回の出し狂言は彼の川上音次郎の組織せし革新劇第一團（左團次組）の演せし『白虎隊』と佐藤紅綠氏の作にして高田實等に依つて二度迄東都の劇壇に持ち出されし『潮』其他詩劇『土屋主税』等にして頗る漸進奇拔なる者のみを選び居れりと云へば開場の上は定めし非常なる喝采を博するなるべし

●持主の判らぬ荷車

去る九日午後三時四十分頃本町五丁目九番戸先きの道路に一輛の荷車を橫へありしを巡廻中の巡査が認め交通を妨ぐるより其持主を搜査せしも不明なるより本町派出所へ挽き來り數時間を經しも持主の出ざるより南部署へ持ち歸り保管中なりと云ふ

●窃盗逃亡者捕はる

福岡縣朝倉郡三輪村字栗田當時平壤居住受負業吉岡留吉（三八）は窃盗被告事件に付き拘引狀執行方平壤理事廳より南部署へ囑託し來りしより同署の長野刑事が搜査中新町三丁目吉岡關次郎方へ潜伏中なる事を探知し去る九日肩書の所に於て取り押へられたりと

●酌婦の健康診斷

本日西署管内酌婦の臨時健康診斷を執行する由なり

演藝

▲歌舞伎座 彰義隊愛澤一座本日の替りは『雲井の引鶴』全八場にして役割左の如し

仲居れ松（西井）中野留子、花園れ要（桂木）花園信子（河野）巡查市川明（川上）河村市兵衛（角村）下女れ幸、女中れしま（中村）車夫吉公、刑事近藤（大和）警部松本、番頭八助（松村）驛夫平田吾一（天草）泊り客（栗島）刑事岩本（木村）女中れとよ同れさん（三島）刑事梶原操（美崎）探偵吉田（一忍）本田義確（篠崎）歸鄉曹長吉村、日高重造（愛澤）

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

●●●●九月十一日舊七月廿七日五黃先負甲戌の●●●●そく△一白●●農業殖林の事吉其外凶△二黑●●沈靜の日なり舊常舊態を改變せざる限りは支障なし婚約婚禮養子の事談大に吉△三碧●●窒窮澁滯の日とす積極的の活動凶△四綠●●組合、連帶、國体等の創立及び婚姻、養子、緣組あらば必ず破綻の因となる色情酒害を戒しむ△五黃●●浮沈隆替の分岐する如き大事は敢行して成効するあり其外凶△六白●●隆昌の日なり進みなす事盡く効す殊に工業家は大に吉とす△七赤●●顯進の日なり擴張創始改變等よろし但し交際上及傭入に付きては注意すべし△八白●●從者家族の者より損害痛心事あり總じて平穩の日とす△九紫●●業務に退歩萎縮なきよう…し其他は可もなく不可もなし

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

▲一昨く夜即ち八日の夜十一時少し過ぎのこと西小門通りは日の出亭に大騷動があつた死人怪我人……などは勿論無い、マア慌てずに聞きなさいヨウ▲話の順序として同亭を構成……否同亭の間取から述べる詳しくは後日の事として茲には其大略を申す▲本家一棟は支那家屋此れは料理店として表向きの場所に宛てられ隣りの五間續きの温突こそ酌婦君常住の部屋にして又手を叉ゆれば雲となり足を拱すれば雨となる龍攘虎搏の大活劇を演せらるゝ場所に宛てらる▲舞臺は即ち此道具建てにして幕は引かるゝ▲制服の査公一名何か用ありげに同亭を覗き込みたるが忽ち返して靴音を忍ばせて西小門大通りの方へ立去らんとして燈火淡き温突窓下に一寸佇んで耳を澄てたが怪しき物音もなかつたか七八間行き過ぎた▲途端に温突の方の小門は音もなく開かれたと見ると男二人『又れ出でなさいね』の聲に送られて出た▲木の葉の風に囁く聲も聞き落さじの査公の耳に何條此れが響かで止むべき、ツト立ち止まつて振向き返る鼻先をスウイと拔けた二人の男、先刻怪しと睨んだる温突の木戸には夜目にも知き女の立姿▲シヤ出者▲後譚は明日（係）▲拜啓陳は貴紙去る三日第二百〇四號の平民文庫欄に於て御注進なる者の投書の記事中「昇給を強請して容れられず故を以て云々」は事實全く相違致居候吾等迷惑一方ならず候間至急御取消被下度候恐縮九月八日（本町五丁目淺野方四人一同）▲壽座の舞臺開きは例の關西劇界の第十伊東文夫君に依つて執行さるる相である（歡迎子）▲此れから徐々蕎麥が美味くなる（蕎麥好）▲太平町太平湯の近傍に魚と牛肉と鷄肉とを賣る家が出來た附近の者は非常に便利を感ずるでしょう（世話燒）▲此の頃の平民文庫が大に振はんね小僧君の責任だらう奮發し玉へ（讀者）▲左樣ちやありません全体投書なさる方の振はん罪だ私の責任だなぞは迷惑だ（小僧）▲はの字、爛酌、玉、太平洞八、石井洞八、長谷川町住人の諸君に奮發を希望する（係）▲朝寒み漬物うまき湯漬かな（むら）▲本町通りは人通りが大變に澤山ある樣に見へるが人數としては爾うでもないので道幅が狹いからだと思ひますが何うでしょう（觀察子）▲旭町の通り程一時に賑かになつた所はあるまい何にしても結構なことだ（同人）▲理事廳の監獄署は何れへか移轉せらるゝ樣に希望します外の騷ぎが乾度中へ聞へる從つて罪人が妄想を興すに相違ないと思ひます（さんぽ）

各種洗濯石鹼專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋散髮、諸工業用
京城旭町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部
●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社(四三一)
●被雇たし 中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし 氏名在社(四三五)
●募集 廣告募集員二名採用多少經驗ある者希望者は午後五時來談旭町三京城廣告社
●雇入 鳥類剝製に經驗ある者至急雇入れたし 氏名在社(四三八)
●告初京生君 紙上の匿名は御隨意なれども絕對的匿名にては通信不能なれば掲載する能はず更に本社迄氏名御通知ありたし(係)

物件部
●求宅地 官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし 京城旭町一丁目五十三ノ四 安藤
○龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社(四三三)
●龍山未設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社(四三四)
●迷犬 雌犬毛色頭及尾茶褐色胴体は白黒斑點右迷込有飼主心當の者は至急本欄係へ
●未設電話讓渡したし 氏名在社(四三七)

廣告


卸 小賣
京城本町五丁目
富士の里茶舗
電話九九七番

●牛乳(純良 消毒 檢査濟)
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり

待合 貸席 入船
京城南山町一丁目
電話千百三十五番

●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●

馬車配達

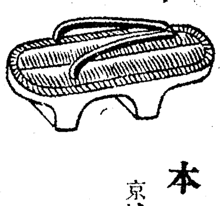
焦心單志多年爲斯道麻於微義奧旨恍然似有得者匪躐擢膽斷瞰瞰茫洋辭羣淵腦素面輕薄也
京城本町五丁目
易斷觀相教授 三一館 館主 土御門派大陰陽師

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町二丁目六十七番戶
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
京城明治町一丁目四ツ角
卸問屋 唐川商店
電話二六一番

消毒用デシンフォルマリン外一式
病虫害驅除豫防藥一式
工業用藥品一式
農具種子苗木肥料類
京城本町一丁目(長谷川町筋)
三輪商會
電話三八六番

日韓印刷株式會社
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番
營業科目
活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍
製本及ビ印刷
諸材料販賣


東京
正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目日の出橋際
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

荒物世帶道具一切
大阪◯製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
卸小賣
荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜アサヒサッポロ麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
西 西崎嘉七本店
電話長二一〇電略(ニカ又はニ)
振替貯金口座東京(九四一七番)

洋食 うなぎ丼 うなぎ蒲燒 天ぷら 辨當折詰類
生そば
今回生そば相始め一層勉强致し候間多少と遠近とに不拘續々御用命之程願上候
南大門驛構內
エーテー
電話六八七番

新築落成
貸席御料理
京城和樂園
高田屋
電話九三七番

●祝開業三週年●
江湖御客樣方の御引立に預り日ましに繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の內左記之通り特別大勉强仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候あらく可祝
會席二膳附 並等壹圓 上等壹圓半 特等貳圓
但御酒は上記代金の內にて召上り次第
尙々十人以上の御宴會は御人數に應じ相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候花代なしにて
京城大和町三丁目
梅の家
電話七三五
●祝開業三週年●

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、◯精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番)

代書
ゴム印彫刻
京城本町一丁目 南部警察署前
成巧館代書部
成巧館彫刻部

明治廿年七月創立●京城代辨店 本町四山口吳服店 電話九番
資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番
東京火災運送海上保險株式會社


貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行
危險擔保附運送 品代金付貨物運送
內國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話一七九番
仁川出張所 仁川驛前 電話七〇八番
釜山出張所 草梁驛前 電話五一一番
草梁驛前 電話六三七番 釜山驛前 電話五一六番
龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇六番

●花柳病一般、痔疾注射療法
神戶資生分院 京城梅毒病院
新築落成入院隨意
院長 元兵庫縣福原驅梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平
京城相生町(南門湯隣)

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番戶
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、靑森、秋田、能代、七崎、高崎、
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌、
台灣 臺北、臺南、
滿韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羣山、大邱、群山、安東縣、晉州、街州、馬山、
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

特定御用
大豆(?)活版
荒井牧場 牛乳
電話一〇五六

日本郵船株式會社仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 九月二十六日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 月日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 九月十四日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 九月三十日正午時出
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 九月
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ハ事

●新聞料 ▲一箇月金三十錢 ▲三ヶ月前金壹圓 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲一ヶ月金五錢 ▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲繼續廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 橋久神一郞
發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三番